

芸術の観点から見た人材育成

日時：2/24(水) 18:00~

会場：長崎創楽堂 **入場無料**

講師：東京藝術大学理事，音楽学部教授，
ピアニスト 渡邊 健二 氏



渡邊 健二 氏 PROFILE

名古屋市立菊里高校音楽課程卒業後、東京藝術大学、同大学院修了。第43回日本音楽コンクール第1位。78年~83年ハンガリー、リスト音楽院に留学。その間、ミュンヘン国際コンクール、第1回日本国際音楽コンクール、リスト・バルトーク国際コンクールに入賞。「僧衣を被ったメフィスト」といわれるリストの二面性のみならず、彼の奉仕精神に強い印象を受け、リスト作品の精神的理解を深め、その普及に努めることをライフワークとしている。

現在、東京藝術大学教授として教鞭をとる傍ら、日本を代表するリストのスペシャリストとして、リサイタル、室内楽、オーケストラとの共演ほか、音楽雑誌への寄稿、講座、コンクール審査等を行っている。故山上豊、故永井進、田村宏、松浦豊明、P.ショイモシュ、G.アゴスティ、G.シェベック、T. ヴァシャーリの各氏に師事。1988年より3年間、佐々木基之氏に分離唱の指導を受ける。2005年より全音楽譜出版社より、野本由紀夫氏校訂・渡邊健二運指及び演奏への助言によるリストピアノ作品シリーズを刊行中である。86年リスト記念メダル（ハンガリー政府）、92年「空の日」芸術賞（日本航空協会）受賞。（財）カワイサウンド技術・音楽振興財団理事、日本ピアノ教育連盟評議員、全日本学生音楽コンクール審査員、国際リスト協会理事、2006年リスト・バルトーク国際ピアノコンクール審査員。2005年12月より東京藝術大学理事(教育担当)・教授。

「日本を代表するリスト弾き」で、東京藝術大学教授の渡邊健二先生による特別講義を、長崎で開催いたします。当日は、演奏も予定しております。この機会に、ぜひ、お出かけください。

渡邊健二さんのこと

大学時代の思い出です。一つ上の学年だった渡邊さんは、秋の芸大祭の時に、学生オケとスクリヤーピンのコンチェルトを弾かれました。本番前に私が、「早いパッセージとか、アンプとか、心配ないのですか？」と聞いたら、「ない、あとは演奏の時に、豊かなイマジネーションが持てるかどうかかな」と涼しい顔で一言。そういうものかと思いながら聴いたその演奏は、美しい音がちりばめられた、とても魅惑的なものでした。そんな、渡邊さん、昼休みには、学生食堂横の狭い通路で、キャッチボールをして剛速球は投げ、ロビーに置かれていた卓球台では、見事なラリーを披露。ピアノテクニックと運動神経はきっと深い関係があるのだと思い知らされた大学時代でした。

現在、芸大ではオリンピックのエンブレム選考委員長として最近露出度の高い宮田亮平学長のもと、ずっと理事をされており、「新しい芸術文化の歴史を作り、世界で活躍できる国際人が多く育つ、世に開かれた大学」という理念づくりにも、渡邊さんが深くかかわっていることと思います。ここ数年、全国の学生担当副学長会議でお会いする機会があり、是非、長崎にお出かけくださいとお誘いしていましたが、今回やっと実現しました。長崎の皆さんとも、いろいろ話をしたい、と渡邊さんはおっしゃっていますので、よろしかったらどうぞ、みなさん講座にお出かけください。

(2016/02/15 堀内伊吹)

お問合せ

長崎大学 長崎創楽堂を活用した
アートマネジメント育成事業 事務局
TEL.095-819-2343 E-mail araiyuri@nagasaki-u.ac.jp